

広島県の農林水産業



「Hiroshima FOOD BATON」R6採択プロジェクト



「おいしい！広島」プロジェクト
～FooDrinpic Hiroshima 2025～



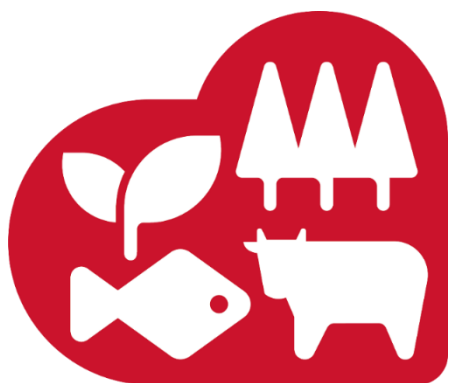
スマート農業の実装(アスパラ自動収穫機)



広島県畜産共進会「種畜の部」



こだわり漁師の「瀬戸内さかな」の競り



小学生の里山学習(庄原市美湯ハイツ付近)

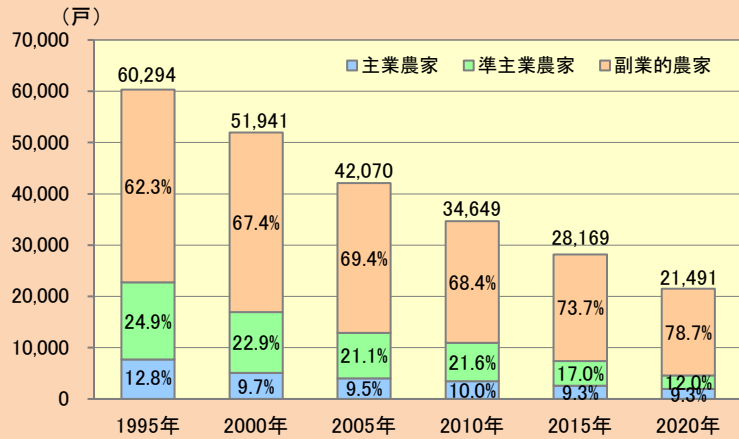
令和7(2025)年4月



広島県

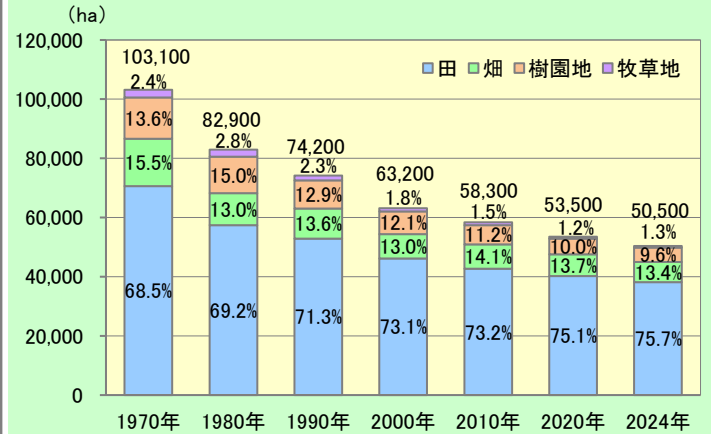
農 業

1 主副業別販売農家数



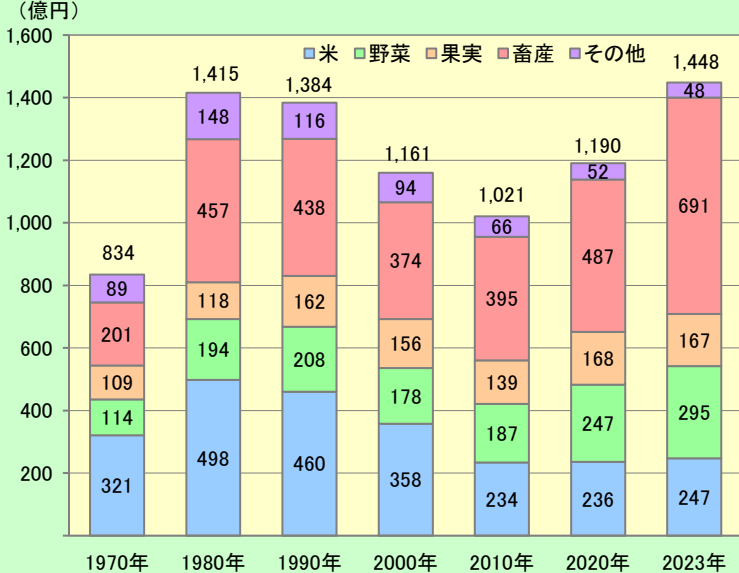
本県の販売農家は、副業的農家が約8割を占めています。
注：1995年から2015年は販売農家数、2020年は農業経営体数のうち個人経営体数の値。

2 耕地面積



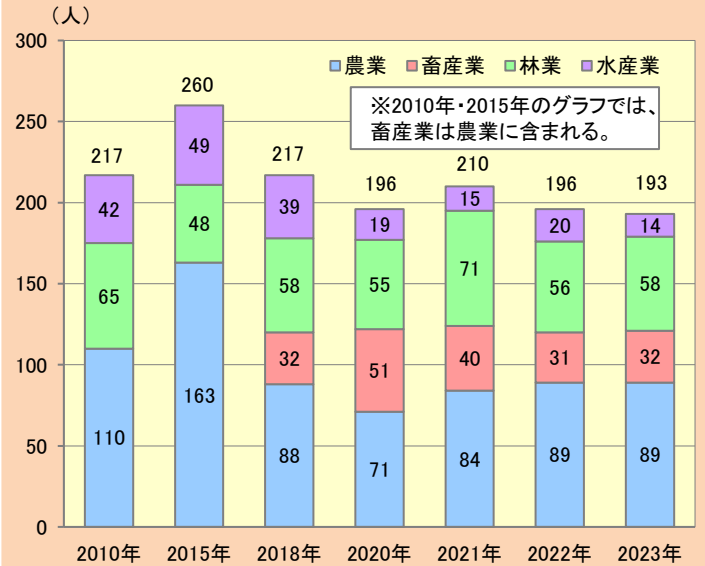
本県の耕地面積は減少傾向にあります。1経営体あたりの耕地面積は、2010年の1.0haから2020年には1.3haと増加傾向にあります。

3 農業産出額



2023年の農業産出額は、米・野菜・畜産の各分野において、単価高の影響により、産出額が大幅に増加するとともに、野菜及び畜産の産出額は、それぞれ過去最高となっています。

4 新規就業者数（農・畜・林・水）

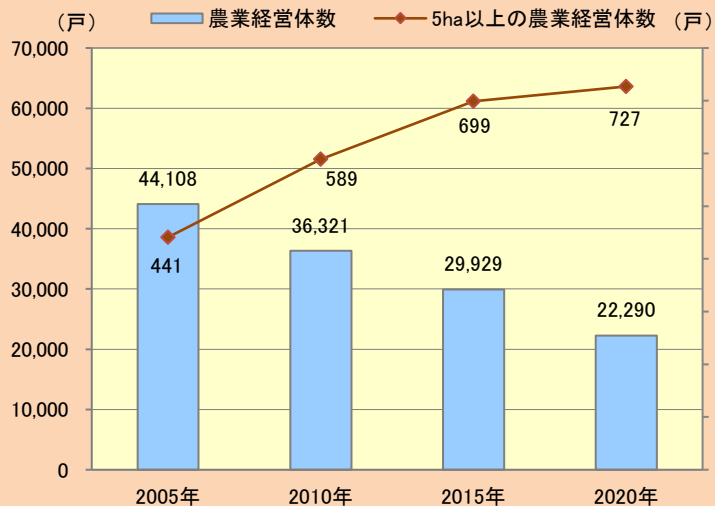


※2010年・2015年のグラフでは、畜産業は農業に含まれる。

2023年の新規就業者数は、畜産業及び林業において増加しています。また、農業については、企業経営体の育成を進めてきたことにより、雇用体制を整えた経営体が増加し、雇用就業が増えています。

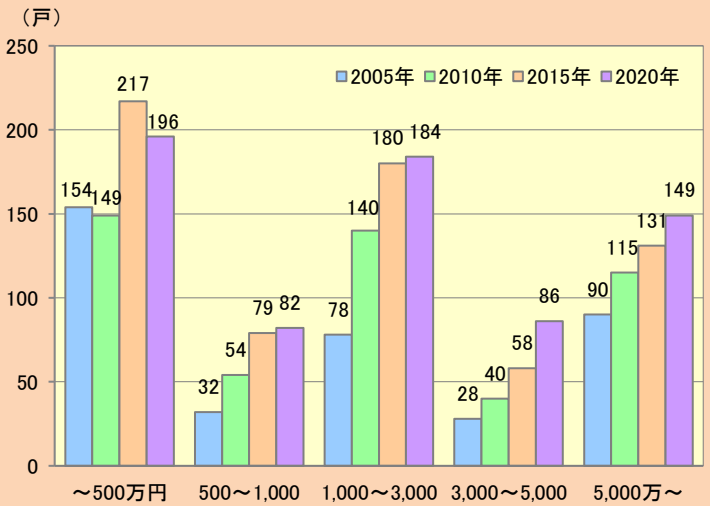
5 企業経営体の育成

【農業経営体数と経営耕地面積5ha以上の経営体数】



農業経営体が減少する中、担い手への農地集積が進むとともに、経営力や販売力の向上に取り組むことにより、着実に企業経営体の育成が図られています。

【法人化している農業経営体の売上高】



農業生産

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然条件を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開しています。（年の記載がない数値については、2023年値。）

畜産

産出額 691億円（全国15位）

生産量

牛肉 8,622t
豚肉 4,389t
生乳 51,532t
鶏卵 116,953t



全国6位

県内飼養戸数及び飼養頭羽数（2024年2月時点）

	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸平均
乳用牛	110	8,990	81.7
肉用牛	407	27,700	68.1
豚	24	147,600	6,150
採卵鶏	41	9,260,000	225,853

《農業産出額の上位5品目》

1位 鶏卵 361 億円
2位 米 247 億円
3位 豚 146 億円
4位 肉用牛 77 億円
5位 生乳 59 億円

米

産出額 247億円（全国23位）

生産量 109,700 t



【生産量の多い品種】

コシヒカリ (21,704t) あきさかり (9,818t) あきろまん (3,487t)

※農産物検査ベース

野菜

産出額 295億円（全国28位）

生産量 74,146 t（指定野菜41品目の合計生産量）

わけぎ（2022年）
生産量 303t
全国1位



【生産面積の大きい野菜】

ねぎ (493ha) キャベツ (460ha) ほうれんそう (386ha)

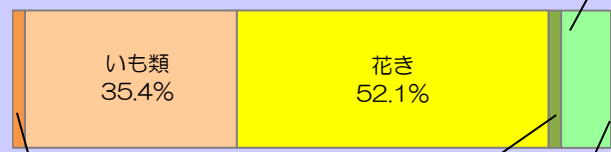
【産出額の高い野菜】

ねぎ (48億円) トマト (44億円) ほうれんそう (23億円)

その他

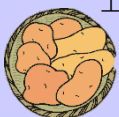
産出額 48億円

種苗木他 8.3%



麦・雑穀豆類 2.1%

秋植えばれいしょ
生産量 1,250t
全国3位



工芸農作物 2.1%

加工農産物 0%

花き

産出額 25億円（全国37位）

出荷量 切り花類 29,900千本（2019年）

花壇用苗もの類 8,490千鉢

【出荷量の多い花き】

きく（2019年）（15,200千本）

果実

産出額 167億円（全国14位）

生産量 26,492 t（作物統計において調査対象品目となっている14品目の合計）

みかん 15,600 t 全国10位 レモン 4,401t(2021年) 全国1位 ネーブルオレンジ 1,723t(2021年) 全国1位

【生産面積の大きい果実】

みかん (1,480ha) レモン (321ha) ぶどう (274ha)

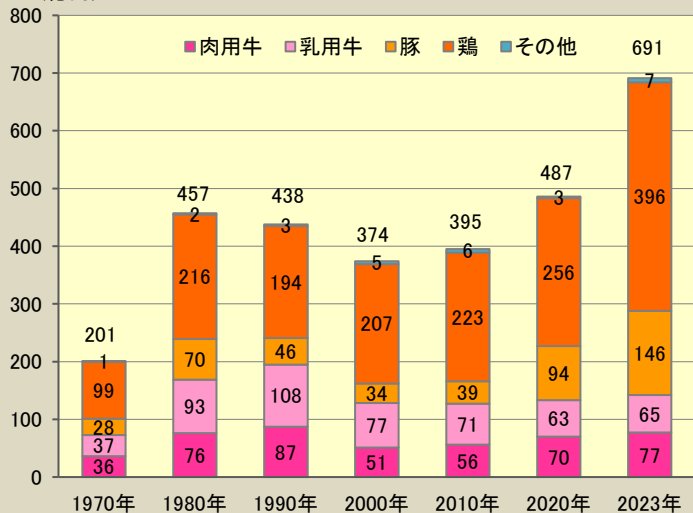
【産出額の高い果実】

みかん (40億円) ぶどう (39億円) レモン (19億円)

畜産業

1 農業産出額（畜産部門）

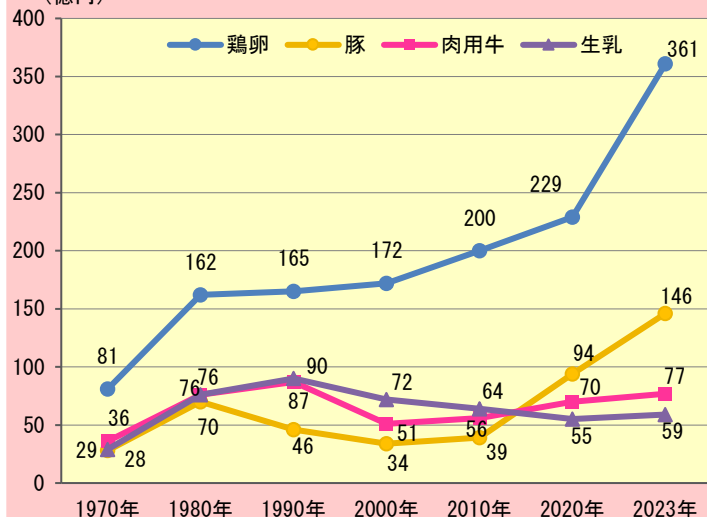
（億円）



2023年の産出額のうち、乳用牛は生乳、鶏は鶏卵が、それぞれ約9割を占めています。

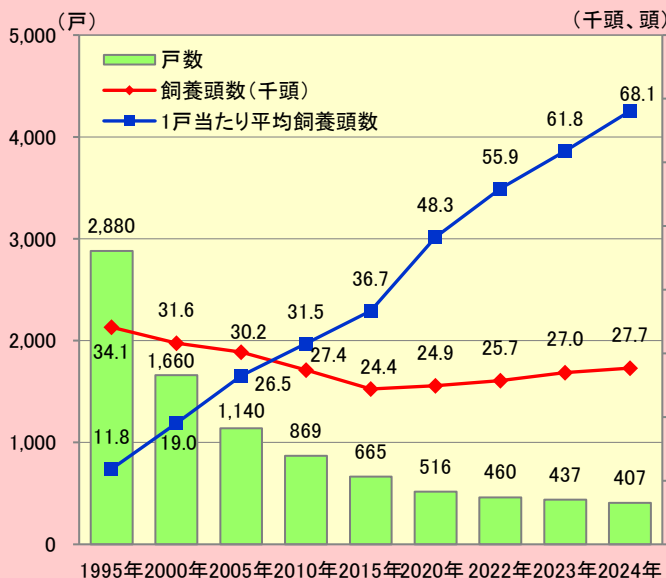
2 畜産品目別の農業産出額

（億円）



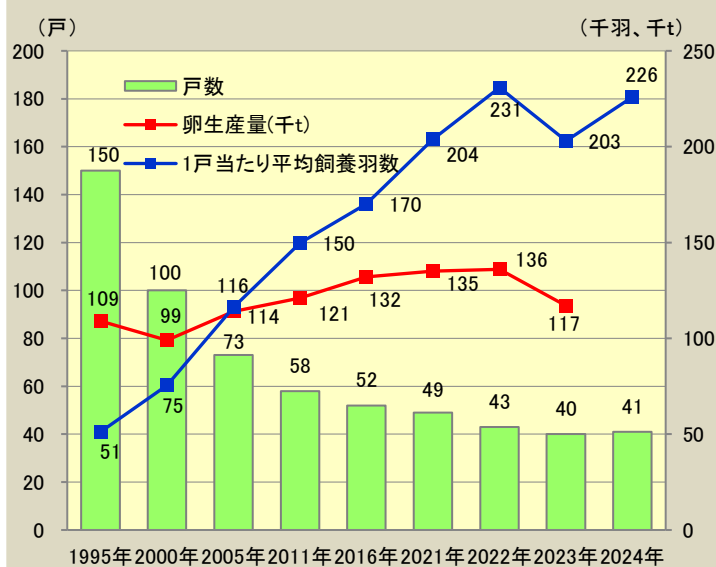
2023年の鶏卵の産出額は、千葉県、茨城県、鹿児島県、岡山県に続き、全国第5位です。

3 肉用牛飼養状況



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数は増加しています。

4 採卵鶏飼養状況



飼養戸数は減少傾向ですが、1戸当たりの平均飼養羽数は増加傾向となっています。※卵生産量（2024年）は未公表

広島県農畜産物の生産状況

品 目		調査時 (年)	作付面積 (ha)	生産量 (t)	産出額 (億円)
米		2023	20,500	109,700	247
麦類		//	400	943	0.0
大豆		//	400	416	0.2
野 菜	トマト	2023	185	10,900	44
	ねぎ	//	493	7,970	48
	ほうれんそう	//	386	4,480	23
	アスパラガス	//	107	913	12
	キャベツ	//	460	11,600	8
	わけぎ	2022	27	303	2
きく		2019	60	15,200	8

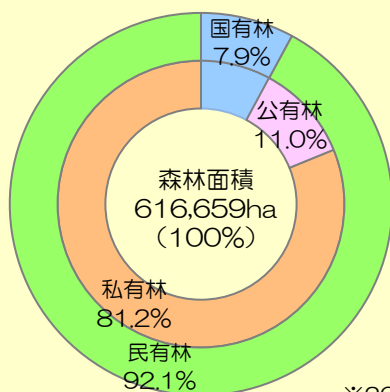
品 目		調査時 (年)	作付面積 (ha)	生産量 (t)	産出額 (億円)
果 樹	みかん	2023	1,480	15,600	40
	レモン	〃	321	4,659	19
	いしじ	〃	262	2,267	5
	はるか	〃	48	582	2
	ぶどう	〃	274	3,040	39
	いちじく	〃	45	366	2
畜 産	鶏卵	2023	-	116,953	361
	生乳	〃	-	51,532	59
	肉用牛	〃	-	8,622	77
	豚肉	〃	-	4,389	146

注：麦類は、小麦、六条大麦、はだか麦の合計値。大豆の産出額は、豆類全体の額を示している。

出典：農林水産省「作物統計」他。なお、レモン、いしじ、はるか、いちじくは県調べ。

1 森林資源

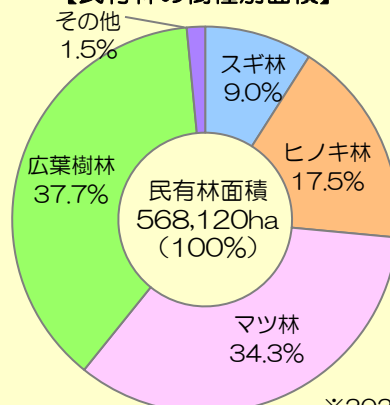
【所有形態別構成比】



※2024年4月1日現在

本県の森林面積は県土面積の72%にあたります。

【民有林の樹種別面積】

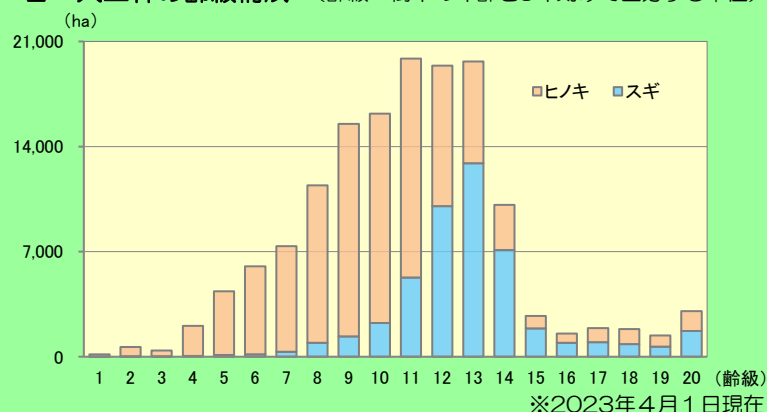


※2024年4月1日現在

本県の民有林は、県北部地域を中心にスギ・ヒノキ等の人工林が、県中南部地域を中心にマツ・広葉樹混交林が広く分布しています。

2 人工林の齢級構成

(齢級：樹木の年齢を5年刻みで区分する単位)



5 県民参加の森づくり



地域・学校・ボランティア団体で連携した森林保全活動 令和6年度 特認事業（庄原市）

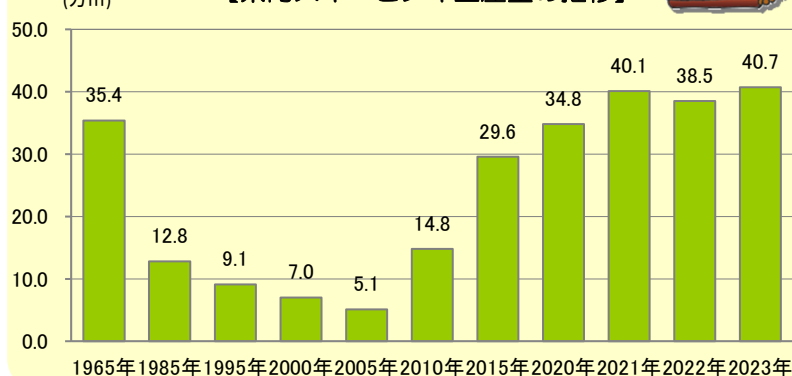
住民団体・森林ボランティア団体・企業等が放置された里山林を手入れするなど、多様な主体の参加による森林保全活動が県内各地で行われています。

《ひろしまの森づくり事業（2007～2023）》
人工林の間伐 15,005ha
ボランティア活動支援 400,503人



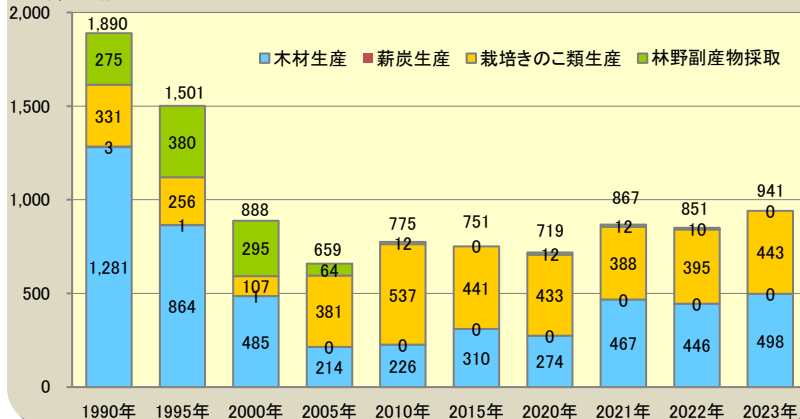
3 木材生産の状況

【県内スギ・ヒノキ生産量の推移】



4 林業産出額の推移

(千万円)



6 森林の保全



本県の山地災害危険地区は、約2万5千地区であり、民有林の37%を保安林に指定し、治山事業の実施、水源林の造成など多様な森林整備を行いながら、森林の公益的機能の維持・保全に努めています。

治山施設

整備前



整備後

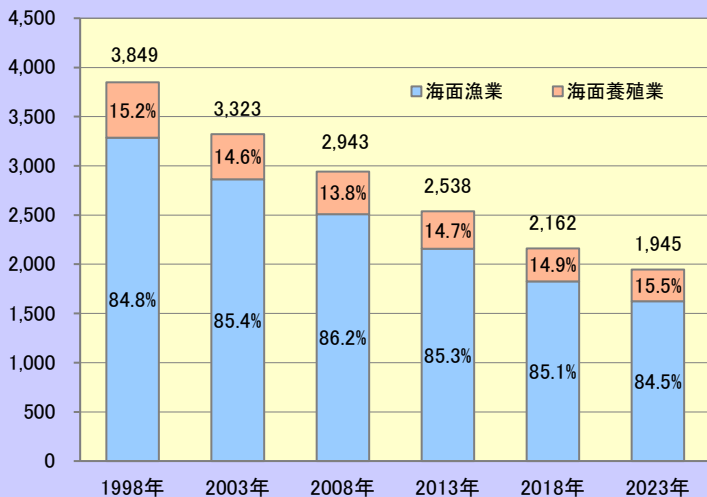
平成30年災被災跡地の森林の再生（府中町）

手入れ不足などにより森林の荒廃が進むと、「災害を防ぐ」「水を蓄える」など森林の有する公益的機能が損なわれてしまいます。
県では、ひろしまの森づくり県民税を財源とする「ひろしまの森づくり事業」で、荒廃した森林の再生に取り組んでいます。

水産業

1 漁業経営体

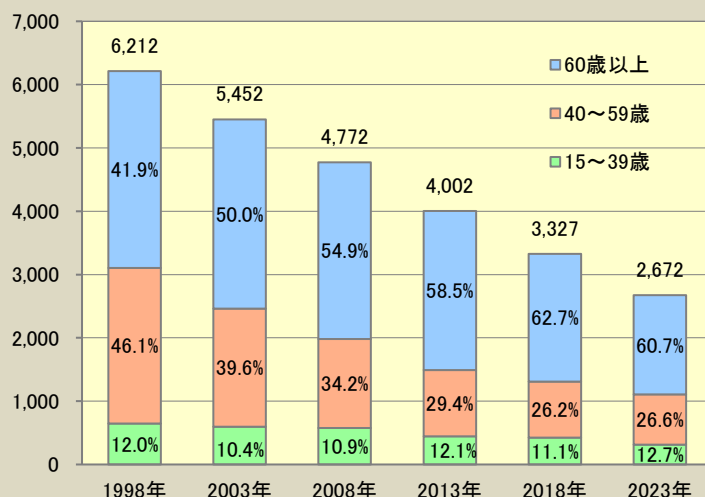
(経営体)



本県の漁業経営体数は、年々減少傾向にあります。組織別の内訳は、2023年で、個人94%、団体6%となっています。

2 漁業従事者

(人)



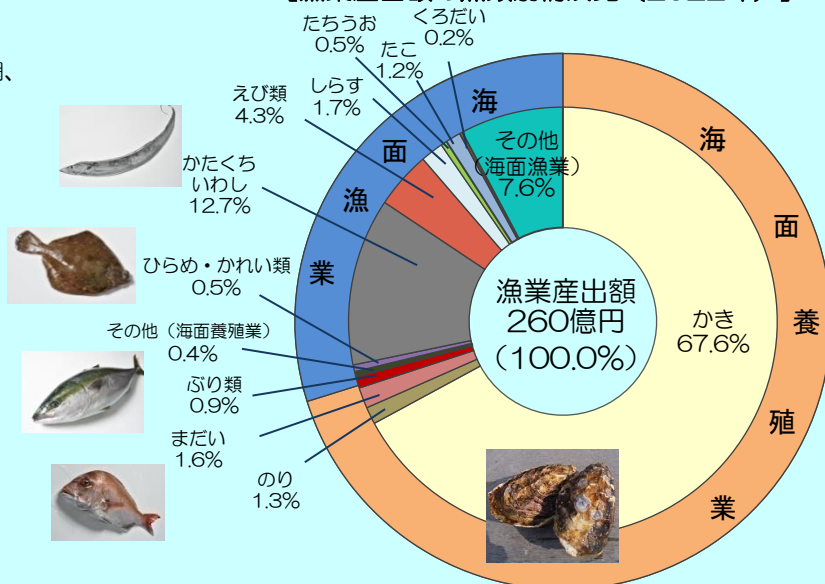
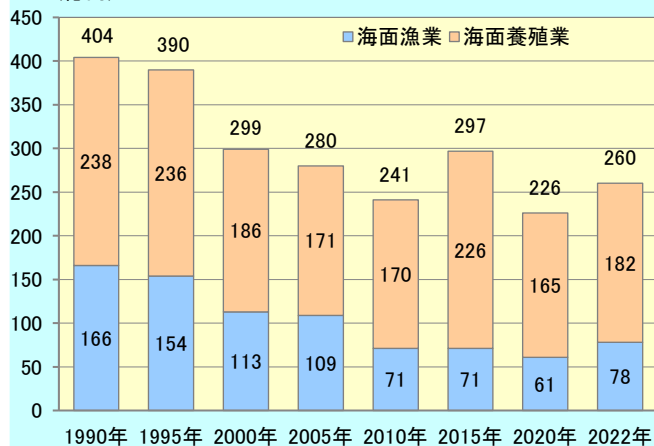
本県の漁業就業者は、年々減少傾向にあります。

3 漁業産出額

【漁業産出額の魚類別構成比（2022年）】

本県の漁業生産額は、かきが約7割を占めています。海面漁業では小型漁船による一本釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われています。

(億円)

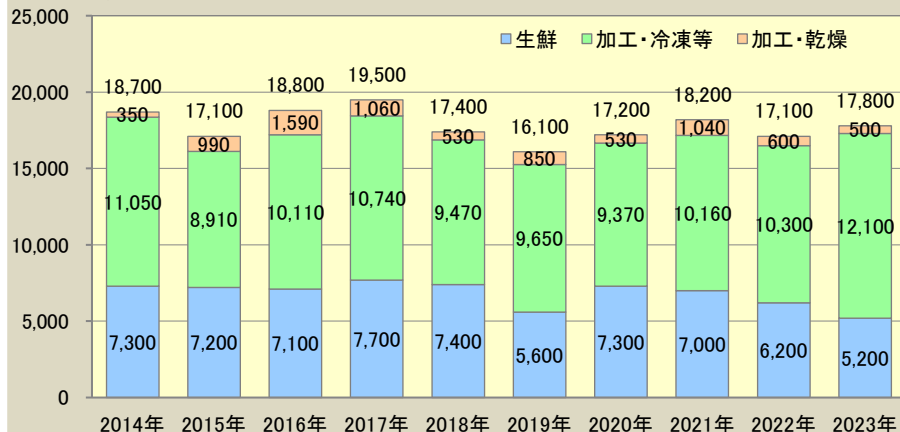


※まだい及びぶり類は海面漁業＋海面養殖業の生産額合計

4 かきの生産量

【広島かき生産・出荷量の推移】

(t・剥き身)



2023年漁期の総生産量は、17,800 t（生鮮向け5,200 t 加工向け12,600 t）で全国1位です。品質のよい特色のある広島かきの提供に努めます。

かき小町
(写真：右)



夏場に産卵しないため、身入りのよい大粒のかきとして出荷されます。



オニオコゼ
(写真：左)

地先定着型魚種を中心に、地域ごとに特色ある水産資源を増やすとともに、本県産水産物のブランド化を促進し、消費者に安定して新鮮な水産物を供給する体制作りを構築します。

2025広島県農林水産業アクションプログラム

■ 基本理念：『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』

今後、広島県では人口減少や少子・高齢化が進むことが予測され、特に中山間地域においては、より厳しい環境変化が見込まれることから、中山間地域の基幹産業である農林水産業においては、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していくことが重要であり、あわせて集落や里山里海などを含めた環境が維持されていくことを想定

■ 策定の背景

平成30年3月に「ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」を策定し、「担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指した取組を進めてきました。計画期間の最終年度である令和2年度にこの間の取組の成果と課題を検証するとともに、社会情勢及び本県の農林水産業を取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、県の次期総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の10年後の目指す姿を見据え、新たな実行計画を策定しました。

■ 計画の考え方

○このプログラムは、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」における農林水産業等の分野別計画として位置付け、その目指す姿を実現するための具体的な取組等を定めるものです。

○分野ごとの10年後の目指す姿を実現するために、5年後の「目指す姿」と5年間の「取組の方向性」や「具体的行動計画」など、県が主体となって重点的に取り組む内容と達成すべき目標（指標）を明確化します。

■ 計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度（5年間）

■ 施策体系

生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

農林水産業

農業

- I 地域の核となる企業経営体の育成
- II スマート農業の実装等による生産性の向上
- III 新規就業者等の新たな担い手の確保・育成
- IV 担い手への農地集積と基盤整備
- V 中山間地域農業の活性化

畜産業

- I 持続可能な広島和牛生産体制の構築

林業

- I 森林資源経営サイクルの構築
- II 森林資源利用フローの推進

水産業

- I 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築
- II 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築

安全・安心

- I 安全・安心な農林水産物の提供体制の確保

防災・減災

- I ため池などの農地・農業用施設の防災力の強化
- II 山地災害防止に向けた取組

中山間地域

- I 中山間地域農業の活性化（再掲）
- II 森林の公益的機能の維持

「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に掲げる農林水産業の主な目標値と達成状況

項 目		2023年実績	目 標	
			2025年	2030年
農 業	農業生産額 ※畜産を除く	757億円	736億円	746億円
	農業生産額1千万円以上の経営体数	637経営体	655経営体	705経営体
	農業生産額1千万円以上の経営体生産額	280億円	275億円	335億円
畜産業	比婆牛を取り扱う高級飲食店の増加数	4店舗	10店舗	30店舗
	広島和牛を肥育する企業経営体数	5経営体	5経営体	15経営体
	広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	2,649頭	2,730頭	4,850頭
林 業	集約化された林業経営適地の面積	累計：1.0万ha	1.8万ha	4.0万ha
水産業	かき輸出量	1,560トン	2,000トン	2,500トン
	海面漁業生産額800万円以上の担い手数 ※いわし類を除く	46経営体	71経営体	84経営体
	海面漁業生産額800万円以上の担い手生産額 ※いわし類を除く	4.7億円	11億円	19億円

広島県農林水産業の主要指標

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全 国	
農業					
総農家数	2020	戸	45,335	1,747,079	16
個人経営体数	2020	経営体	21,491	1,037,342	21
主業経営体数	〃	〃	1,989	230,855	33
準主業経営体数	〃	〃	2,580	142,538	22
副業的経営体数	〃	〃	16,922	663,949	14
世帯員数（個人経営体）	2020	人	61,488	3,489,686	23
（うち女性比率）	〃	%	49.7	49.4	20
（うち65歳以上比率）	〃	〃	53.4	44.6	2
農業従事者数（個人経営体）	2020	人	47,726	2,493,672	22
（うち女性比率）	〃	%	45.0	43.9	9
（うち65歳以上比率）	〃	〃	59.6	52.5	2
基幹的農業従事者（個人経営体）	2020	人	24,534	1,363,038	26
（うち女性比率）	〃	%	39.7	39.7	23
（うち65歳以上比率）	〃	〃	83.5	69.6	4
耕地面積	2024	ha	50,500	4,272,000	27
（ 田 ）	〃	〃	38,200	2,319,000	24
（ 畑 ）	〃	〃	12,200	1,952,000	31
（1経営体当たり経営耕地面積）	2020	〃	1.3	3.1	34
農作物作付延面積	2023	〃	38,000	3,912,000	32
耕地利用率	2023	%	74.7	91.0	46
荒廃農地面積	2023	ha	7,770	256,676	12
農業産出額	2023	億円	1,448	95,579	24
（ 米 ）	〃	〃	247	15,279	23
（ 野 菜 ）	〃	〃	295	23,243	28
（ 果 実 ）	〃	〃	167	9,590	14
（ 花 き ）	〃	〃	25	3,522	37
（ 畜 産 ）	〃	〃	691	37,721	15
生産農業所得	2023	〃	426	33,421	28

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全 国	
林業					
森林面積	2020	ha	618,092	24,770,166	10
国有林	〃	〃	47,322	7,153,338	20
民有林	〃	〃	570,770	17,616,828	6
うち保安林	2022	〃	207,397	5,354,304	4
森林蓄積総数	2022	千m3	115,512	5,560,201	21
林家数	2020	戸	35,928	690,047	1
森林組合数	2022	数	15	607	14
森林組合員数	2022	人	72,558	1,465,762	3
林業産出額	2023	千万円	946	47,510	18
（木材生産）	〃	〃	498	24,810	18
木材（素材）生産量	2023	千m3	366	20,647	19
木材（素材）需要量	2023	〃	1,773	23,669	2
外材（素材）需要量	2023	〃	1,378	3,022	1
林野火災被害面積	2023	ha	14	844	12
松くい虫被害量	2023	千m3	10	315	10
水産業					
漁業経営体数	2023	経営体	1,945	65,662	14
海面漁業（延数）	〃	〃	1,625	53,493	12
海面養殖業（延数）	〃	〃	320	12,169	14
漁業就業者数	2023	人	2,672	121,389	17
漁業生産量	2023	t	111,164	3,829,828	8
海面漁業	〃	〃	18,954	2,926,411	26
海面養殖業	〃	〃	92,134	851,509	2
かき（殻付き）養殖	〃	〃	89,192	149,064	1
内水面漁業	〃	〃	22	21,567	25
内水面養殖業	〃	〃	54	30,341	30
漁業生産額	2022	億円	260	14,347	17
海面漁業	〃	〃	78	9,136	26
海面養殖業	〃	〃	183	5,211	11
かき養殖	〃	〃	176	389	1

資料：2024年農業と水産業に関する調査

資料：2020農林業センサス確報値ほか

多面的な役割を持つ農林水産業・農山漁村

【本県における農業・農村の公益的機能の評価額】

洪水防止	751	田畑が降雨を一時貯留し、周辺に徐々に流したり、雨水の急激な流出を防ぐことで、洪水を防止・軽減する役割
水資源かん養	286	降雨や、灌漑によって導かれた河川水等を田畑が地下に浸透させ、蓄える役割
土壌侵食防止	45	農地で作物を栽培することにより、土壌侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	11	耕作されている水田が地下水を安定的に維持し、土砂崩壊を防止する役割
有機性廃棄物処理	1.8	農耕地が、有機性廃棄物を堆肥として還元し、廃棄物の最終処理経費を軽減する役割
気候緩和	3.4	水田が、水分の蒸発により周囲の気温を低下させ、特に夏期においては、周辺地域の気候を緩和させる役割
保健休養・やすらぎ	404	田畑は農村の景観の一部を構成し、その景観や自然が人に潤いややすらぎを与える役割
合計	1,502	

【本県における森林の公益的機能の評価額】

（単位：億円/年）

水源かん養	5,300	森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化し、洪水や濁水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	9,527	森林の下層植生や落葉枝が地表の浸食を抑制する役割
土砂崩壊防止	2,076	森林が根茎を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養	516	森林が人にやすらぎを与え、余暇を過ごす場として果たしている役割
二酸化炭素吸収	312	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収している役割
化石燃料代替	49	木造住宅の建築による化石燃料代替効果
合計	17,780	

資料：広島県の評価額…農林水産部（平成14年）による推計値
注：機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部機能に過ぎないことから、合計値は参考とします。